

Q12. 患者の問題に適切に対応するために必要な診療情報/医学知識の収集・吟味や臨床判断に関する (EBM、医療経済等の) 以下の用語について、あなたはどの程度知っていますか。各項目それぞれについて該当するものに○をお付けください。

	知らない	聞いたことはある	少しだけ知っている	簡単に説明できる
EBMの5(4)ステップ	1	2	3	4
PECO(またはPICO)	1	2	3	4
感度/特異度と陽性的中率/陰性的中率	1	2	3	4
治療必要数 (Number Needed to Treat: NNT)	1	2	3	4
メタアナリシス (Meta-analysis)	1	2	3	4
信頼区間 (Confidence Interval: CI)	1	2	3	4
尤度比 (Likelihood Ratio: LR)	1	2	3	4
費用効果分析 (Cost-Effectiveness Analysis: CEA)	1	2	3	4
増分費用効果比 (Incremental Cost-Effectiveness Ratio: ICER)	1	2	3	4
質調整生存年 (Quality Adjusted Life Year: QALY)	1	2	3	4
直接費用 (direct cost) と間接費用 (indirect cost)	1	2	3	4
優位/ドミナント (dominant)	1	2	3	4

Q13. EBM という用語は広く使われているにもかかわらず、理解のされ方は一定していません。あなたが EBM という言葉を聞いて、真っ先に連想するキーワードまたはイメージを挙げてください。(5つまで)  
また、EBM についてのご意見を自由に書いて下さい。

EBMについての キーワード/イメージ	
EBMについての 自由意見	

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。

ご記入のお済みになられたアンケート用紙は、同封の返送用封筒(切手不要)にて、

平成21年2月6日(金)までにポストにご投函ください。

院長、事務長 殿

平成 20 年 12 月 吉日

平成 20 年度厚生労働科学研究費補助金

地域医療基盤開発推進研究事業

研究課題「臨床研修における標準的 EBM 教育カリキュラムの普及と評価に関する研究」班

主任研究者 国立大学法人 佐賀大学医学部附属病院 総合診療部 教授 小泉俊三

「研修医の知識と問題対応能力」に関する全国調査にご協力をお願い

謹啓

初冬の候、貴施設におかれましては、ますます益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、平成 20 年度厚生労働科学研究費補助金による「地域医療基盤開発推進研究事業」の一環として、「研修医の知識と問題対応能力」に関する全国調査を実施することになりました。

近年の医学・医療の進歩には目を見張るものがあり、国民の健康に大きく寄与していますが、新知識の集積が急速に進むとともに既存知識の陳旧化は以前にも増して加速し、臨床医が“最新・最良”の知識/情報を常に身に付けておくには多くの努力を要します。一方、医療の現場では、“安心・安全な”医療を求める国民の声が益々強くなり、医療機関であれ、医師個人であれ、医療の提供者は、透明性と説明責任を果たすことを強く求められています。このような医療環境が、医療専門職としての道を歩み始めた臨床研修医にとっても大きな負荷となっていることは想像に難くありません。

然るに、EBM(根拠に基づく医療)が我が国に紹介されて以来、“最新・最良”の臨床情報と患者アウトカムを重視する EBM の意義は概ね受け入れられ、臨床研究の成果を基盤とする臨床実践も着実に根付きつつありますが、「EBM=医学文献の検索と吟味」と狭義に解釈されることも多く、臨床現場での課題発見と“目の前の”患者のための問題解決能力を身に付けるプロセスは、多くの研修病院で、研修医個人の努力に任されるか、従来からの経験則に基づく指導に委ねられているのが実情です。実際、研修の現場で研修医がどのようにして必要な知識基盤/問題対応能力を身に付けてゆくかについても、これまで十分な調査は行われてきませんでした。

今回、上記の実情を踏まえ、「臨床研修における標準的 EBM 教育カリキュラムの普及と評価に関する研究」班では、臨床研修医が知識基盤/問題対応能力を習得してゆくためにどのような努力をしているか、その実像を探ることを目的として全国規模の実態調査を行うこととしました。

各施設のプログラム責任者または臨床研修センターの実務を統括しておられる諸先生方には、研修医の皆さんにこのアンケートに協力いただけるよう、ご配慮、ご指導いただければ幸いです。アンケートの実施に当たっては個人情報保護にも細心の注意を払い、またアンケートの回収についても、先生方のご負担を軽くすべく、最善の方法を講じたいと考えております。

以上、ご理解を賜り何卒宜しくお願い申し上げます。

謹白

## 担当者の方にお願ひしたいこと

この調査の趣旨をご理解、ご協力頂ける場合は、同封の調査協力同意書に担当者のご氏名と、貴施設で調査票の配布可能な研修医の人数をご記入の上、同封の返送用封筒（切手不要）でご返送下さい。

後日、委託調査会社より担当者の方宛に配布可能な研修医の人数分の調査票と返送用封筒のセットを送らせて頂きます。

それぞれの研修医の方に手渡して下さい。その際、この調査の趣旨を簡単にお伝え頂ければ幸いです。

参考までに、研修医の方にお願ひする調査票の見本を同封しますので参考にして下さい。

\* 調査票につきましては若干変更になる可能性もございますので予めご了承下さい。

追伸：調査票の発送・回収業務を（株）ブラメド、（株）インタージ・リサーチに委託しますため、調査票の返送先が同社宛となりますことをご了承ください。

連絡先：ご質問がある場合には下記へお問い合わせ下さい。

〒600-8009 京都市下京区四條通室町東入函谷鉾町 79番地

四條鳥丸ウエストビル3階

株式会社ブラメド

Tel 075-600-9099 Fax 075-222-1536

担当：石上 大西



平成20年度厚生労働科学研究費補助金  
地域医療研修における推進的EBM教育  
「臨床研修プログラムの普及と評価に関する研究班」

主任研究者 佐賀大学医学部附属病院 総合診療部  
教授 小泉俊三

調査研究委託先 (差出人) ㈱ブラマド  
(逓付先) ㈱インテナーシリアーチ  
〒203-8686 東京都東久留米市本町1-4-1  
TEL 042-476-6304

「臨床研修医の知識基盤／問題対応能力についての  
全国アンケート調査」

## 「研修医の知識と問題対応力」に関する全国調査 協力同意書

調査の趣旨を理解し、調査に協力します。

### 【調査物品の送付について】

下記にご記入いただきました担当者の方宛にアンケート調査の物品を送付させていただきます。

下記の記入欄に、担当の方のお名前と部署名をご記入下さい。また、調査協力可能な研修医の人数をご記入下さい。

【この欄は必ずご記入ください】

【施設名、施設住所に関しては宛名ラベルに誤りのある場合のみ正しい内容をご記入ください】

担当者名		担当部署名	
協力可能な 研修医人数	人		
施設名			
施設住所			

株式会社プラメドは、サービスをご利用になる方のプライバシーを尊重し、個人情報を取扱う業務の遂行にあたっては、個人情報保護に関する国内法令、ガイドライン等を遵守いたします。詳細につきましては弊社ホームページ <http://www.plamed.co.jp/>の「個人情報保護方針」をご参照下さい。

## 資料

### 「臨床研修医の知識基盤／問題対応能力」

### 全国調査

#### Q10-1

「それぞれの教材等に関して、知識・情報の習得のための有益な点もしくは問題点、不満点等ご自由にご意見をご記入下さい。」に対する

#### 回答

対象コード	Q10-1.
	院内(診療科、病棟など)の手順書
0001	小病院なので充実してない
0005	一般的でない。情報が古い。
0006	あまり実践的でない
0008	すでにまわった先輩研修医が作ったものは良いが、病院が作ったものは意味なし
0009	院内でのコンサルトの基準が分かるのでコンサルト時は役に立つ
0022	薬の処方などは採用薬品がそれぞれ異なるので独自のものが使いやすい。
0026	院内のものなのでconsultする時にも話が通りやすい。
0027	病院毎の感染症対策(抗生剤の効き)がわかってよかった。
0033	麻薬使用以外に使用したことない
0039	読んで覚えるより、実際に働いて覚えることばかり
0045	内容があいまい、古い
0046	バージョンupされないことが多く、融通がきかないものもある。
0047	よく作り込まれている。
0053	使いやすいし、その場しのぎにはなるが全国的な指標ではない。
0054	手近、根拠不明で信用できないことがある。
0056	ほとんどない
0060	共通理解のため大切
0063	科や病棟ごとに決まりがあるのであった方がいい
0064	移動が多い時は慣れるまでの間重宝する。
0065	それぞれの病棟しか使えず、病院全体での運用は難しい。
0077	みにくい
0081	ないのでは？
0089	特に問題なし。まとまっているところがいい。
0093	実際の診療にとっても沿った内容なので有益
0095	簡便でよい
0096	院内にない
0099	現実的でなく使えないものもある
0100	救急外来で特にマイナー科の診療に便利
0101	手軽にみえるところがない
0103	既戦力としては有用だが、EBMIに基づいているのか、他病院で通用するのが不
0108	その病院でしか使えない生きた知識がよい
0113	大原則しか書いていない。
0115	教科書には書いていないようなことが書いていることがある。
0117	院内の業務はスムーズに行えるが、情報としては偏る
0121	勤務の実際に即している。考え方などは詳細でない。
0122	自分の病院で使いやすい。たまに市販の本と食い違う。
0126	当院での臨床研修は病院全体というよりは各科に任せられている部分が多く、研修資料やマニュアルはありません。
0130	Evidenceがはっきりしない
0136	最も実践的
0144	簡潔でわかりやすいが、スタンダードでない場合がある
0146	検査の手順などが書かれたものはいくつかあるが、それ以上の知識は得られにく
0149	ないので不満
0151	対応に直結、幅が少ない
0154	実際に仕事するうえで絶対必要なもの
0159	業務上は使いやすい
0160	ローカルルールになるが、日常診療に一番必要
0178	わかりやすい
0179	一部古いものがある
0180	自分で編集でき便利、教材など貼ったりして活用している。
0183	参考程度に読む
0185	どこでもパソコンでひらける
0188	特になし
0189	院内のどこでも見れる環境にない
0199	病院内業務にすぐ応用できる



0205	自分の病院でのプロトコルなので実際に使いやすい
0207	実施されているのとは違うところがある
0208	実用的、頻用、ポケットに入る
0210	院内で特別に整備されたものがない
0213	ない
0217	各病院で使っているものが異なるため他の病院にいくと戸惑う。
0222	救急外来(小児のみ)に特化したものでわかりやすい
0226	すぐに使いやすい。
0229	院内手順の整理に良い。EBMに疑問
0232	今必要なinformationを得れる
0236	使いにくい
0237	研修医が独自に作成しており実施には向いているが、根拠がない場合も
0248	使いづらい、そんなものは存在しない
0256	院内独自のやり方がわかるが、学問的でない
0265	どこでも見れる
0267	どこにあるのかよく分からない時が多い。分かっている人だけが使っている。
0268	明確でない
0277	ローカルルールにすぎないものが多い
0279	何のことを指すのか不明で回答できない
0281	標準的なものなのか分からない
0286	考え方の統一。好きじゃない
0290	実際いろいろあるらしいが、どこにあるのか分からない
0300	なし
0306	いつもお世話になっています
0311	その組織のやり方に従うのみ
0312	更新されていないものも多く、質もバラツキあり、使いづらいことが多い。
0314	一番調べたいことが載っていない
0326	ローカルな規則が多い
0328	現場に即した内容で現実的に有用
0331	病院の事情に合わせてあるので最も実用的
0340	クリニカルパスを活用している。内容の吟味は割りと勉強になる。
0341	とりあえずの業務がすぐできる。が、結局は誰かに聞いたほうが早くて確実。
0343	学生向けのカジュアルな本が少ない
0348	独自のものはほとんどない
0349	他院での応用が効かず、根拠が不明
0350	古い傾向あり
0357	内容がうすくて役に立たない
0358	皆で共有できてよい
0365	実用的、エビデンス不明
0366	院内インターネットで見れて便利、evidenceに乏しい
0372	何があるか不明
0375	規則の確認に有用。あまり使う機会はない。
0378	実際には用量・場面設定などに使いにくい
0379	一般的な疾患に対する知識が得られる
0386	古い
0388	電子カルテで見れる
0401	病棟ごとに違うので使いづらい
0408	特になし
0416	用意されていない科もある
0423	所在がはっきりしない、科によっては存在しない
0427	携帯するのにいい
0431	主にNsむけ
0436	病棟診療や検査において重要であり、よく使用する。ただし、他病院や他科で手順が違うところがある。
0441	院内なので使いやすい
0459	日常の業務と直結しているため、大変勉強になる

0473	院内業務はスムーズに行えるが、それだけでは深い知識や他でも通用する力がつかない。
0477	特になし
0481	身近
0482	必要な知識と直結している点が良いが、全国的に統一された見解でない点の間
0494	特になし
0496	病棟の手順書のレベルになる
0506	手順は分かるが、なぜそのような手順になるのか分からないことがある。
0507	一貫性がない
0513	各科で使ってもらえればいいが、実際はない科が多い。
0516	注意点などが簡潔に書かれている
0519	重症度に応じていないことがある
0521	詰め込みすぎてどこに何が、どこまで書かれているか分かりにくい。必要最低限は書かれている。
0523	特になし
0525	○実践的、×たまに間違っている
0526	手順書はあまりない
0542	ない
0545	使いやすい、実践的
0549	病棟のルールが聞かなくても分かる
0552	実際の現場に即したもので役立つ
0560	読みづらいことがある
0567	上の先生の好みにより診療方法が違うから、結局ひとつひとつ聞きながらやっていた
0572	具体的で実践しやすい
0573	必要な知識がコンパクトにまとまっている。
0578	まずは基本にして広く浅く身につけた。今はあまり使用しない。
0579	EBMにのっとっていない慣習的なものがある
0582	あまり量的に充実していない
0595	あまりに内容が古い
0596	病院にあったことができる
0598	院内ルールがあること
0608	Golden standardではない
0611	その科をローテートしている時は使用した
0612	ローカルルールが多く、病院が変わると全く役に立たない。
0623	臨床で使える
0625	そんなものない
0628	院内で業務を行ううえでは有用
0633	あまり使用せず
0638	安心して使えるが、種類は少ない
0649	ほぼ毎日見て確認するので習得できる。
0651	存在しない
0670	具体的、スタッフ全てと共通
0672	院内のみでしか使えない
0673	たくさんあるがほとんど使わない
0676	背景となる知識や経験がないのに、最初から頼るものではないと思うから
0679	参考になるものはなかったです
0695	手近にあり利用しやすいが、一般的に常識的かどうか判断しにくい。
0696	なし
0697	特になし
0698	使い勝手がよい
0704	手順についてよくまとまっている。しかし、有害事象時の対応が不十分
0706	実際の
0712	長所: 病院に合わせてある。短所: 信頼性、普遍性のなさ
0713	情報が整理されていない
0720	どんな時に使用できるか分からない
0723	長所: この病院に則した薬剤が記載。短所: 各診療科間でのバラツキあり。
0724	オーダー中心になりがち

0726	わかりやすく実用的
0730	偏りがある
0734	当院では手順書が少なかったり、古いものもある。どこに置いてあるのかわからない時がある。
0736	実際に使えない
0737	そもそも存在しない
0739	当初院内のものはなかった
0741	EBMがない
0742	科ごと、病棟ごと、先生ごとに処置の方法や種類が変わるのはどうかと思う。
0744	あまり目にする事が無い
0751	良い
0756	当院ではあまり整備されていません。
0761	救急に置いてあると、とっさの対応の役に立つ。あまり見ない、目を通す程度のことが多い。
0764	現在は試行錯誤の段階でまだ確立されていない。
0767	もう少し具体的にしっかりしたもの！！
0769	同じ病院で仕事を行う上では有用であると思う
0770	数が少ない
0782	実用的、応用きかない
0784	どこにおいてあるか分からない
0796	使いやすい内容である
0802	理解には役立つ
0807	分かりやすいものもある
0817	なし
0818	ローカルルールで一般的でない
0833	パスは実際の臨床現場で役に立ちました
0845	なし
0849	院内のものなので迷わずに使える
0852	作成されていない疾患が多い
0860	字ばかりなので読まない
0867	ほとんど使用していない
0869	簡潔だが、内容が不十分で一部古い。
0871	大事だが実際に使わないと何がどこに書いてあるかわからなくなる。
0921	なし
0923	あったらいいと思いますが、うちはないと思います。
0924	どこにあるのかわからず使いにくい
0927	わかりやすい
0932	マニュアル化されていて使いやすい。当院の採用薬で書かれているのですぐに使
0933	古くて使えないものも多し→改訂が必要
0937	参考にしています
0943	あまり使用しない
0946	使いやすい
0948	存在しているか不明なものが多い
0956	すぐ使えるので便利
0957	あまり見かけない
0960	間違いがある
0967	検査依頼や書類作成など時間短縮できる
0969	病院の業務内容を知る上で便利である。
0972	特になし
0973	他院に行ったとき(地域医療)に、場合によって(症例)は全く違ったりするので、かなり戸惑う。
0986	作られていないものが多いのでわからない
0988	あまりない
0992	実際の現場に合っている。当院のやり方に即している。
0994	院外では使えない
0995	病院内のシステムと合致している点が良い
1003	汎用性がないが、覚えておくことは大事であると思う。

1017	すぐ使える。他の施設でどうしているか分からない。
1024	必要最小限の利用にとどまる
1029	昔一度作られただけで使いづらかったり、変更されていたりする。
1030	実践的だが基礎がうすい
1038	存在自体を知らない
1043	マニュアルのありか(ある場所)がわかりにくいことがある。(初期研修は数ヶ月で科が変わるため)
1044	どこにあるか分からない
1046	EBMに基づいたものか出版元が不明
1047	仕事に直結しておりわかりやすい
1051	使用可能な場所が限定される
1059	アクセスして情報を探すまで時間がかかる
1061	使いやすいが、情報が古いものがある。本当に正しい情報かどうか分からない。
1064	少ない(当院では)

対象コード	Q10-1.
	研修医用マニュアル
0001	良いものがあるが、高い
0006	よさそうだが、そのまま使える場面が少ない
0008	良いかどうかは、ものによる
0009	救急外来診療などポイントのみを素早く調べる時に便利
0011	簡潔ではあるが、深くつっこんだ解説はない
0015	まとまっていてわかりやすい
0018	初期研修開始時にはある程度有用ではあるが、ローテートを前提に作られているせいか、広く浅い印象がある。
0022	病院のやり方と微妙に異なることが多く使いづらい。
0026	簡単にまとめてあるので急いでいる時は見やすい。ただ簡略化のあまり、理由や有用性がよくわからないことも。
0027	必携
0028	まとめて読む時間がなかなかない。これが一番好き。
0032	研修医用の本が情報が新しい
0045	わかりやすい
0046	実用的でないものもまれにある。研修医には実用書がよい。
0047	わかりやすい
0053	現場にそぐわないことがある。
0056	新しいものがない
0060	簡便でよい
0063	実践的だと思う
0064	内容はうすが、速やかな対応ができる。
0065	病気に対しての陳述が多く、症候や診断基準の記述が少ない
0067	わかりやすく実践的だが、疾患メカニズムなど医学的知識は得にくい。
0077	みやすい
0081	高い。多すぎ。
0084	レジデントマニュアル
0089	臨床マニュアル…何をすべきかすぐ分かる
0093	研修医の疑問に思う点がほぼ書かれているので有益
0095	簡便でよい
0096	まとめられているが詳しくない
0099	中身が薄い
0100	使いやすくわかりやすい、理解が深まらない
0102	わかりやすい
0111	コツとかデータ解釈とかが書いてある本が多いが、問題の本質について基礎的な視点も含め書いてある本はあんまりないような。第一そういう本ってローテットの数ヶ月を乗り切るためのものか、それとも各科へ進む場合の導入書なのか、位置付けが微妙じゃなからうか？各科の魅力、醍醐味や手技の注目すべき点などに興味を持たせる本があったら教えてください。ちなみに自分の進路は決まっているので
0113	意外に臨床に即していない。
0114	次の行動に移りやすいが、深い理解は難しい
0115	ポケットに入るサイズのものが多く、読みたい時に読める。
0116	内容の浅いものが多い
0117	手っ取り早いですが、指導医の方針と合わないことも
0120	簡単でわかりやすい
0121	多用している。Compactで持ち歩けるtext.infoとしては量・質ともに充分ではない。
0122	わかりやすいが、病棟業務についての内容が少ない。
0126	学生時代の教科書と異なり、例えば使用する薬剤でも用量・用法まで書いてある点が良いです。
0129	必須項目をまとめて書いていないので、全体として分かりにくい。
0130	up to dateでないものがある
0136	一般論がわかる
0144	携帯できる。研修レベルでの知識の過不足がある。
0146	簡潔にまとめられており、ちょっと調べるのに便利。
0149	正しさに疑問

0151	ある程度の幅、十分
0154	施設によってやり方が違うので、うのみにできない時がある。
0158	まとまっていて使いやすい
0159	わかりやすさ、すぐに役立つ
0165	手軽
0167	一番使います
0177	便利
0178	早くオーダーできる
0180	安く使用しやすいが、知識が表面的になる
0183	初期治療に対する対応の仕方が記載されているので、結局は知識を深めるのに他の書籍が必要
0185	持ち運び可
0188	特になし
0189	もっと小型化(白衣のポケットに入るサイズ)もしくはPDAに入るようにしてほしい
0199	使いやすい
0203	一番手軽に感じるので一番利用している
0205	わかりやすい
0207	good
0208	実用的、頻用、ポケットに入る
0213	とりあえずの答えがある
0214	何種類もあるが中には使えるものもある
0216	病院によってできることが異なる
0219	マニュアルごとに書いてあることが違う
0222	具体的な処方例があるので使用しやすい
0226	すぐに使いやすい。細かいところまで書いていないことが多い。
0228	持ち歩きしたい本が何冊かあるが、ポケットサイズではない
0229	わかりやすい。情報不足のこと多い
0232	使いやすい
0233	コンパクト
0240	自分が直面している問題に近いものが提示されている
0241	ポイントをしっかりとらえている
0247	洋書の選択の充実
0248	手に入りやすい、内容はピンキリ、買う時間がない
0256	一般的なやり方がわかる
0262	持ち歩きが可能
0265	簡単に短い時間で読める
0267	理屈が書いていないから、なぜそうするのか分からない。
0268	内容のない知識になってしまう
0277	evidenceに乏しい、不安
0279	良い
0281	良くも無いが悪くもない、足りないことも多い
0286	分かりやすい。古い
0300	便利
0304	曖昧すぎる
0306	いつもお世話になっています
0308	研修医用は必ず限界があるので、専門医用の本も併せて買うようにしている
0311	臨床での使用に準じており、使いやすいがauthorityはあまりないか
0312	現場でパッとひらくことが多く重宝する
0314	高い
0323	「研修医～」とつく本には、ためになる本が少ない。特に小さい本は使えない気がする
0326	研修中の忙しい中では、要点がまとめられているのでよい
0328	知りたいことが書いてあり最も用いる
0331	わかりやすい
0334	実際の用法・用量が掲載されているので、一つの基準となる
0338	手軽、安価だが、情報はやや足りないことが多い。
0340	研修H.P.の特色によらない普遍的なスタンスを勉強できる。
0341	一般的な知識を得られる。診療科が変わると読まない。

0344	持ち運びに便利なものが多く使いやすい。
0345	まさに必要としている内容がのっている
0348	手軽に手に入るが、Evidenceが不明、あるいは古い
0349	初期対応としては良いが、その後の応用がきかない
0350	ポータブルで使いやすい
0351	研修中の疑問点を科の細分なく幅広く記載ある。
0357	内容がうすくて役に立たない
0358	多くて選びにくい
0365	実用的、エビデンス不明
0366	知りたい情報が手に入る、持ち運べる
0368	最低限に必要なことは分かるが、安易すぎる
0372	持ち運びやすい
0375	当直や救急外来ではこれがないとやっていけない
0378	ほしい情報がまとまっている
0379	携帯しやすい
0380	実際に一番役立つのはこれだと思います。要点が書いてあるので、日々の中で読みやすい。
0381	使えるものもある。
0386	値段が高い
0388	分かりやすく使いやすい
0401	自己学習には最も有益と思われる
0402	マニュアルだけだとおもしろくない
0408	特になし
0416	役に立つ
0423	ほしいものが見つけにくい
0427	古くなりがち(情報)
0431	使用頻度が高くなると物足りない
0436	使いやすいが科や指導医によっては嫌がられる。
0440	時間がある時でないとも目を通せない
0441	知りたいところを書いてある
0459	研修医にとってスタンダードな知識を知るのに有用
0462	研修医向けということと基礎的な観点から書かれているのが有益
0464	ポケットの中に入れて持ち歩けるのでいつでも参照できる
0473	安易な知識のみが身につくそう。
0474	わかりやすく、時間がなくてもその時使える。持ち歩けるので便利。
0477	特になし
0482	便利ではあるが、深さが無い。お金がなくて買えない。
0494	わかりやすい
0496	字から引くのが難しい
0506	内容が薄い。本質的なことがわからない。手技について少し書いてあるのみ。
0507	分かりやすい
0513	よく売れているものと本当に使えるものとの差がある。
0516	注意点などが簡潔に書かれている
0517	臨床的に平易、使いやすい
0523	特になし
0524	レジデントマニュアルシリーズ、考える技術、聞く技術、Step Beyond Resident
0525	○実践的、×詳細なところがない
0526	最初のとっかかりに有用
0529	わかりやすい
0530	具体例が書かれている点は分かりやすいが、取り扱っている疾患の種類が少ない
0536	処方などの具体的用量用法がバラバラでよくわからない
0542	すぐにわかりやすく調べられる、重たい
0543	非常に活用しています
0545	実践的、内容としてはやや足りない
0548	具体的、内容が薄い
0549	修得すべき知識が載っていて勉強になる
0552	わかりやすい

0560	実地的ではあるが学問的ではない
0564	いろんなレベルに応じて、段階を踏んで使えてよい
0567	全てが当てはまるというわけではないので、参考にはするけど、case by case。
0572	病院の実情にそぐわないことがある
0573	ポケットサイズのものも多く、持ち運びが便利
0576	内容がやや短絡的なものが多い
0578	まずは基本にして広く浅く身につけた。今はあまり使用しない。
0579	最もすぐに利用できて簡便
0589	分かりやすい
0595	よい
0596	簡単にひけるけど、自信がもてない
0602	目に入りやすいが、内容が薄いことが多い気がする
0606	マニュアルにしか過ぎないので、「勉強」という感じはしないがすぐに調べるには良いと思う。
0608	読みやすいし、使い勝手がよい
0611	分かりやすい、即使える
0614	現状に即していないことがある。商品名がのっていることあり
0623	手が届きにくいことがわかりやすくある
0625	よく探せば良いものがあるけど、多くて探すの難しい
0633	実践的で非常に使いやすい
0638	実際の診療現場では指導医の方法と異なることも多いが、当直では携帯してしま
0649	ポケットサイズのマニュアル本は持ち運びが便利
0651	実用的
0655	使いやすい
0670	すぐに必要なこと、最低限やるべきことがわかる
0671	本によって記載が違う
0672	院内でのスタンダードと食い違う。著者の意見が多分に入る。
0676	現在での研修制度で、どこまで勉強すべきかが分かりやすい
0679	本当に参考だと思えます。ちょっと目を通す程度です。
0686	短時間で調べられる、情報は浅い
0688	画一的だが、最初の方針立てる際に時々使う
0689	図や写真など分かりやすい
0692	持ち歩ける小さいサイズのものが多い。あまり机に向かっていない時間はないので、知識の習得は主にポケットサイズのものからになってしまう。
0695	調べるのは簡単だが、パリアンスに弱い
0696	見にくい
0697	特になし
0698	使い勝手がよい
0704	復習、他病院との基準やガイドラインの比較ができる。院内にそのまま適用できないものもあり確認する。
0706	使いやすい、まとまっている
0712	長所:実践的で頭に入りやすい
0723	長所:安心。短所:全科分持ち歩くことができない
0724	実践的だが、根拠がわかりにくい。
0726	手軽
0730	読みやすい
0732	知識はつかない
0734	最初に何をすればいいのかが分かりやすい。記載されている疾患に限りがある。
0735	もっと具体的にすぐ治療に結び付けられる記述のされ方がよいと思う。
0736	高い
0737	白衣のポケットに入るためよく使う。その場では何とかしのげるが、その後どうするか書いてない。
0739	持ち歩きすぐ調べられる⇔内容が薄い
0741	ポケットがかさばる
0742	処置手技の方法は書いてあってもその理由まで書いてある本は少ない、何冊か必
0744	持ちやすくて便利
0751	良い



0756	かなり種類が豊富で選択に迷いますが、実際にはあまり使いませんでした。
0760	人気ある本は大体使えるので買っています
0761	持ち運びしやすい、一目で行動すべきことが分かる、内容が薄すぎ、なぜそうなの か考えにくい。
0762	分かりやすい、本当に必要なことが書かれている
0764	ポケットに入るサイズのをよく使っている。
0767	チェックにはちょうど良い
0769	深い内容まで学ぶことが難しい
0770	分かりやすい記述のものが多い、内容が専門的すぎない
0782	便利、浅い
0796	すぐに調べることができ分かりやすい
0802	当直に有益。入りやすい。マイナーなことは載っていない。
0807	機序等説明に乏しい
0810	マニュアル本はハンディなものが多いが、詳しくは書かれていないため他の本で調 べることも多い
0815	すぐ役に立つ
0817	なし
0818	必要な情報のみ調べられる
0822	up to dateされていないものが多い
0832	コンパクト、分かりやすい、要点がまとまっている
0833	当直での診察時に役立ちました
0837	わかりやすい
0845	なし
0848	よくまとまっている
0849	やさしく書かれていて読みやすい
0852	よく使う、応用が利かない
0854	麻酔科マニュアルは役に立った
0858	少し足りないが通読できる
0860	読みやすい
0866	読みやすい。知りたいことが書いてないことがある。
0867	一番頻度高く、最も勉強になる
0869	広く使われているものならば安心
0871	コンパクトで持ち歩きやすい
0873	自分で本屋で購入、先輩のすすめ
0877	知りたいことが載ってなかったりする
0904	うすい本がほしいです
0911	当直の時に使いやすい
0916	簡潔ではあるが情報量は少ない
0923	〇〇レジデントマニュアル、手技の本など
0924	自分で購入できず利用できた
0927	わかりやすい
0929	分かりやすい
0932	基本的なことが書かれているので便利
0937	使いやすいです
0941	わかりやすい
0943	エッセンスが詰まっていて良い。小さいから持ち運びが楽
0948	具体的に書いてある
0950	読みやすい
0957	よい
0960	読みやすい
0967	わかりやすく系統立てて説明しており読みやすい
0969	実際の診療と異なる内容が書いてあることがあるのが不満である。
0972	特になし
0973	広く浅くの印象があり、ある程度までしか対応できない。
0977	白衣のポケットに入れて調べたい時にすぐにできるから便利
0986	浅く広く知識を修得できる
0988	内容が物足りない、手軽に使える

0991	情報が古い場合、現状に合わせて情報の選択をしなければならないのが問題
0992	研修医のレベルに合っている
0994	買わないとない
0995	必要な情報がコンパクトにまとまっている。
1003	中身はあまりないが読んでおくことは重要である。
1004	長所:手軽。短所:頭に残りにくい
1009	必要なポイントがまとめてあり、すぐに見つかる
1017	すぐ使える。院内では使えない方法や薬のこともある。
1024	分かりやすいが、不十分な気がする
1027	分かりやすいが詳細な記述がない。
1029	要点がまとまっていて便利。でも先生に見つかるらと注意されたりする。
1030	実践的だが病態生理や理論に乏しい
1038	簡単に見ることができる
1043	備えようとする量も多く、コストもかかる。臨床的な流れをつかむ参考になる。
1047	研修医レベルで学ぶべきことが簡潔にまとまっている
1050	内容が浅い
1051	専門的でないが、記載通りにすれば大きな間違いはない
1056	数がとても少ない
1057	一般的な知識が得られる
1059	持ち歩きにくい貴重品
1061	使いやすい
1064	高い、重い

対象コード	Q10-1.
	医学教科書(紙媒体)
0001	便利、毎日使う
0005	費用負担
0006	病態把握に使える
0026	詳細だが調べるのが大変。
0027	あまり臨床で使えない
0028	実践で役に立たないこと多し。患者さんの疑問に答えることは多い。
0039	担当患者の疾患について目を通しておくだけでも安心感がある
0045	むずかしい
0047	情報検索しやすい
0053	ゆっくり読み込む時間が必要、でも分かりやすい。
0054	手軽で利用しやすい、重い、古くなりがち
0058	情報が古くなりやすい
0059	病態が分かる
0060	難しい症例にあたった際参考になる
0064	じっくり読む時間が必ずしも取れないが、深く学べる。
0065	病気に対しての陳述が多く、症候や診断基準の記述が少ない
0077	やや時間がかかる
0079	メイン
0081	重い、高い
0084	イヤernote
0089	ハリソン…深める時に有用
0093	概要を理解するには有益
0095	詳しく勉強できる
0096	詳しいが持ち歩けず、検索に時間がかかる
0099	開くまでの手間がかかる
0100	病態整理から理解できる、持ち運びが大変
0102	詳しい
0115	持ち運ぶのに重く、院内に自分の机がないと読むことも難しい。
0117	情報が古い。「基礎知識」にしかならず現場で使いにくい
0121	infoとしては多いが古いことも多い。重い。
0122	病気についての勉強になるが応用しにくい
0126	患者さんを診て、担当して改めて読むと知識の整理のされ方が違うので、不可欠です。
0130	網羅されている
0136	教科書として使用
0144	調べて自習するのに良い
0146	辞書的に調べるのはよいが通読するのは厳しい。
0147	置き場所に困る
0149	新しさに疑問
0151	詳しく知りたい時に
0154	出版されるときは、古い知識になっていることがある。
0155	知識としては十分だが、臨床での実用性は低い
0156	基礎力を固めるにはよい。読むのに時間がかかる。
0158	院内図書室があり便利
0159	詳しい
0160	重い
0165	重い
0166	英語が苦手
0177	短時間では使いにくい
0178	症状や評価値などがわかる
0179	必要な知識がのっていない
0180	最新のものではないという問題点はあるが、内容が充実しており、しっかり学ぶ面では十分
0183	検索するのに不便
0185	家で調べるにはよい

0188	特になし
0189	特になし
0199	臨床的ではない
0207	goodでも高価
0208	デスクでの調べもの
0213	実践ですぐに役立たない
0214	使いやすい面もあるが実践的な内容が少ない
0216	内容が古い
0222	具体的な処方例がないため不便
0226	詳しく書いてあるが、すぐに見れることは少ない。
0229	勉強しやすい、高価
0232	使い慣れている
0248	高い、読みづらい。ネットが検索しやすいし新しい。
0256	学生時代にやっておけばよい
0265	じっくり読む時間がない
0267	理屈は書いているが、実際に現場で使うとなると、処方量などわかりにくい。
0277	すぐ調べやすい
0279	良い
0281	大きい、重い
0286	病態もしっかり。読むのが大変
0290	英語を訳すのに時間がかかる
0300	よく使用する
0306	いつもお世話になっています
0308	病棟に自分のデスクがある時は毎日使っていたが、今はデスクがなく、オンラインをメインに使う
0311	個人所有のものであり使い勝手がよい
0312	抄院会など、まとまって時間をとることができればもっと見るのだが…
0314	実用的でない
0323	知識を整理するのに良い。
0326	特殊な疾患時のみ
0328	鑑別を考える、病態を考える時に有用
0331	詳しいが難解な箇所がある
0340	まとまっている。検索が良い。
0341	臨床というより基礎の内容が多く、一步進んだ内容。重くて持ち歩けない。
0348	信頼がおける
0349	診断には使えない
0350	重い
0351	病態理解には役立つが、現場に即していない。
0357	1つ1つの症例についてまずまず十分の知識を得ることができる
0358	そのうち古くなってしまふ
0365	系統的、読むのに時間かかる
0366	実践的情報ではないが、疾患概念を知りたい時に
0372	重い
0375	調べて勉強
0378	ほしい情報がまとまっている
0379	辞書として使うことが多く、必要に応じて使う。
0380	あまり臨床には役立たない
0381	疾患の概略をつかむのに使用。
0386	値段が高い
0396	教科書は信頼性が高いが、現場に必要な知識を必ずしも提示しない。
0401	自己学習には最も有益と思われる
0408	特になし
0423	ゆっくりと時間がないと使用できない
0427	大きすぎる
0431	自己負担が大きい
0436	調べものがある時に必ず使う。場所をとり、値段が高いものが多いので、自宅にそろえられない。